

資料 4 8 子ども・子育て支援事業計画における量の見込みと確保の内容の算出方法

1 教育・保育施設

番号	区分	量の見込みと確保の内容	実績数	次期期計画数				
			R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
1	1号認定（満3歳以上、幼稚園を利用希望）	1 必要利用定員総数	1,424	1,190	1,116	1,093	1,068	1,065
		幼児期の学校教育の利用希望が強い	189	75	70	69	67	67
		上記以外	1,235	1,115	1,046	1,024	1,001	1,446
		2 確保の内容	1,424	1,190	1,116	1,093	1,068	1,065
		特定教育・保育施設	189	151	151	151	151	151
		確認を受けない幼稚園	800	519	519	519	519	519
		市外の幼稚園	435	520	446	423	398	395
過不足（2-1）	0	0	0	0	0	0		

○ 「量の見込み」算出方法

- ・ 幼児期の学校教育の利用希望が強い

「家庭類型別児童数（3～5歳、2号認定ニーズ）」×「利用意向率」（＝推計児童数（3～5歳）の6.3%）

- ・ 上記以外

「2号認定（満3歳以上、保育所を利用希望）」にて児童人口に対する必要利用定員総数（実績）を算出後、残りの差分を「幼児期の学校教育の利用希望が強い」にて算出した人数を差し引いた人数とした。

○ 「確保の内容」算出方法

- ・ 特定教育・保育施設 …こどものくに幼稚園（74人）、小金井教会幼稚園（38人）、けやきの森認定こども園（39人）
- ・ 確認を受けない幼稚園 …こどものくに幼稚園、小金井教会幼稚園を除く幼稚園

番号	区分	量の見込みと確保の内容	実績数	次期期計画数				
			R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
2	2号認定（満3歳以上、保育所を利用希望）	1 必要利用定員総数	1,858	1,800	1,709	1,702	1,685	1,702
		2 確保の内容	2,325	2,273	2,273	2,273	2,273	2,273
		特定教育・保育施設	2,226	2,226	2,226	2,226	2,226	2,226
		地域型保育事業	0	0	0	0	0	0
		認可外保育施設	99	47	47	47	47	47
		過不足（2-1）	467	473	564	571	588	571

○ 「量の見込み」算出方法

「児童人口に対する必要利用定員総数（実績）を算出後、過去6年間（H31→R6）の伸び率平均」の1割（0.33%）を加える。

○ 「確保の内容」算出方法

令和7年度認可定員数等と同数

番号	区分	量の見込みと確保の内容	実績数	次期期計画数				
			R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
3	3号認定（満3歳未満、保育所を利用希望） ① 3号認定（0歳）	1 必要利用定員総数	256	257	257	259	263	261
		2 確保の内容	351	345	345	345	345	345
		特定教育・保育施設	287	302	302	302	302	302
		地域型保育事業	32	23	23	23	23	23
		認可外保育施設	32	20	20	20	20	20
		過不足（2-1）	95	88	88	86	82	84
		保育利用率	39.3%	38.4%	38.3%	38.0%	37.4%	37.7%

- 「量の見込み」算出方法
「児童人口に対する必要利用定員総数（実績）割合の過去6年間（H31→R6）の伸び率平均」の1割（0.01%）を加える。
- 「確保の内容」算出方法
令和7年度認可定員数等と同数

番号	区分	量の見込みと確保の内容	実績数					
			R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
4	3号認定（満3歳未満、保育所を利用希望） ②3号認定（1歳）	1 必要利用定員総数	606	585	590	598	609	614
		2 確保の内容	663	627	627	627	627	627
		特定教育・保育施設	562	547	547	547	547	547
		地域型保育事業	36	46	46	46	46	46
		認可外保育施設	65	34	34	34	34	34
		過不足（2-1）	57	42	37	29	18	13
		保育利用率	66.8%	69.2%	69.1%	68.4%	67.6%	67.5%

- 「量の見込み」算出方法
「児童人口に対する必要利用定員総数（実績）割合の過去6年間（H31→R6）の伸び率平均」の1割（0.37%）を加える。
- 「確保の内容」算出方法
令和7年度認可定員数等と同数

番号	区分	量の見込みと確保の内容	実績数					
			R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
5	3号認定（満3歳未満、保育所を利用希望） ②3号認定（2歳）	1 必要利用定員総数	683	659	664	674	687	690
		2 確保の内容	746	702	702	702	702	702
		特定教育・保育施設	634	625	625	625	625	625
		地域型保育事業	41	40	40	40	40	40
		認可外保育施設	71	37	37	37	37	37
		過不足（2-1）	63	43	38	28	15	12
		保育利用率	76.2%	77.7%	77.4%	76.6%	75.8%	75.6%

- 「量の見込み」算出方法
「児童人口に対する必要利用定員総数（実績）割合の過去6年間（H31→R6）の伸び率平均」の1割（0.35%）を加える。
- 「確保の内容」算出方法
令和7年度認可定員数等と同数

2 地域子ども・子育て支援事業（一部のみ）

番号	事業名称	対象	事業の内容	量の見込みと確保の内容	実績数					
					(見込)	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
2	乳児家庭全戸訪問事業（こんには赤ちゃん事業）	対象年齢 0歳	生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、子育てに関する情報提供、乳児及びその保護者の心身の状況及び養育環境の把握を行うほか、養育についての相談に応じ、助言その他の援助を行う事業	量の見込み(人)		989	990	999	1,014	1,008
				確保の内容(人)	1,328	1,014	1,014	1,014	1,014	1,014

- 「量の見込み」算出方法
「推計児童数（0歳）」×「事業実績比率（過去5年間最大値、110.0%）」
- 「確保の内容」算出方法
「量の見込み」の最大値と同数

番号	事業名称	対象	事業の内容	量の見込みと確保の内容	実績数 (見込)	次期期計画				
					R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
3	妊婦健康診査事業	妊婦	妊婦の健康の保持及び増進を図るため、妊婦に対する健康診査として、①健康状態の把握、②検査計測、③保健指導を実施するとともに、妊娠期間中の適時に必要に応じた医学的検査を実施する事業	量の見込み(人)		905	906	914	928	922
				確保の内容(人)	1,184	928	928	928	928	928
					実施場所：都内契約医療機関（助産院、都外医療機関で受診の場合は現金給付） 検査項目：計14回、現在の検査項目を引き続き実施					

○ 「量の見込み」算出方法

「推計児童数（0歳）」×「妊娠届出数／0歳人口（過去5年平均値、100.7%）」

○ 「確保の内容」算出方法

「量の見込み」の最大値と同数

番号	事業名称	対象	事業の内容	量の見込みと確保の内容	実績数 (見込)	次期期計画				
					R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
4	産後ケア事業	妊婦	退院直後の母子に対して心身のケアや育児のサポート等を行い、産後も安心して子育てができる支援体制の確保をし、もって子育て支援の充実を図ることを目的に実施する事業	量の見込み(人)		1,143	1,143	1,154	1,172	1,164
				確保の内容(人)	482	1,172	1,172	1,172	1,172	1,172
					実施体制：委託で実施 実施場所：医療機関（病院）、助産院、利用者自宅（アウトリーチ）					

○ 「量の見込み」算出方法

「推計児童数（0歳）」×登録率45.4%（令和5年度登録率）×平均利用日数2.8日（令和5年度利用実績日数/利用実数）

○ 「確保の内容」算出方法

「量の見込み」の最大値と同数

番号	事業名称	対象	事業の内容	量の見込みと確保の内容	実績数 (見込)	次期期計画数				
					R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
5	子育て短期支援事業（ショートステイ）	未就学児童	保護者の疾病等の理由により家庭において養育を受けることが一時的に困難となった児童について、児童養護施設等において、必要な保護を行う事業	量の見込み(人)		604	587	587	587	588
				確保の内容(人)	730	730	730	730	730	730

○ 「量の見込み」算出方法

「家庭類型別児童数（0～5歳）」×「利用意向率」×「利用実績日数（1回あたり）」

○ 「確保の内容」算出方法

「定員数（2人）」×「年間開所日数（365日）」

番号	事業名称	対象	事業の内容	量の見込みと確保の内容	実績数 (見込)	次期期計画数				
					R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
6	地域子育て支援拠点事業	未就学児童	乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う居場所を開設し、子育てについての相談、情報提供を行う事業	量の見込み（人/月）		5,188	5,199	5,249	5,322	5,312
				確保の内容（人/月）	3,950	3,350	3,350	3,350	5,143	5,143
				確保の内容（か所）	5	5	5	5	6	6
				児童館の子育てひろば事業（人/月）	1,892	1,719	1,719	1,719	1,719	1,719
				児童館の子育てひろば事業（か所）	4	4	4	4	4	4
				子ども家庭支援センターの親子遊びひろば事業（人/月）	2,058	1,631	1,631	1,631	3,424	3,424
子ども家庭支援センターの親子遊びひろば事業（か所）	1	1	1	1	2	2				

○ 「量の見込み」算出方法

「家庭類型別児童数（0～2歳）」×「利用意向率」×「利用希望日数」

○ 「確保の内容」算出方法

【児童館の子育てひろば事業】

利用人数の過去5年間の最大値

【こども家庭支援センターの親子遊びひろば事業】

① R7～9；利用人数の過去5年間の最大値

② R10 新福祉会館への移転による地理的利用者増により、①×1.5 (2,446人)

R10 移転後、貫井北地域に地域ひろばとして機能を残存。規模縮小により①×0.6 (978)

R10以降、3,424人

番号	事業名称	対象	事業の内容	量の見込みと確保の内容	実績数 (見込)	次期期計画数				
					R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
7	病児保育事業	未就学児童	児童が病気の回復期に至らない場合で当面の症状の急変が認められない場合、又は、病気の回復期で集団保育が困難な場合で、保護者の勤務等の都合により家庭で保育を行うことが困難な場合、病院・保育所等に付設された専用スペース等で、一時的に保育する事業	量の見込み(人日/年)	/	3,209	3,120	3,117	3,115	3,120
				確保の内容(人日/年)	2,532	2,532	2,532	2,532	2,532	2,532

○ 「量の見込み」算出方法

「推計児童数(0～5歳)」×「利用意向率(56.3%)」

○ 「確保の内容」算出方法

① しんあい保育園で実施されている体調不良時対応型：定員2名(1日)×294日(開所日数)=588人日/年

② さくらんぼ保育室、ひよこ保育室で実施されている病児保育：定員4名(1日)×243日(開所日数)×2施設=1,944人日/年

番号	事業名称	対象	事業の内容	量の見込みと確保の内容	実績数 (見込)	次期期計画数				
					R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
8	子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター、就学後含む。)	就学児童	児童を有する子育て中の保護者を会員として、児童の預かり等の援助を受けることを希望する者と当該援助を行うことを希望する者との相互援助活動に関する連絡、調整を行う事業です。就学児対象のファミリー・サポート・センター事業	量の見込み(人日/年)	/	1,460	1,446	1,402	1,362	1,300
				【低学年】	1,317	1,115	1,091	1,045	1,010	955
				【高学年】	558	345	355	357	352	345
				確保の内容(人日/年)	1,875	1,460	1,446	1,402	1,362	1,300

○ 「量の見込み」算出方法

未就学児… (=推計児童数(0～5歳)×利用率実績(過去5年間最大値69.1%))

低学年… (=推計児童数(6～8歳)×利用率実績(過去5年間最大値32.8%))

高学年… (=推計児童数(9～11歳)×利用率実績(過去5年間最大値10.1%))

○ 「確保の内容」算出方法

ファミリー・サポート・センター事業は、「一時預かり事業」と「子育て援助活動支援事業(就学後)」の確保方策として利用されるが、ファミリー・サポート・センター事業の最大確保量(「協力会員の数の見込み」×「協力会員1人当たりの活動件数(過去5年間最大値の17.4日)」)で未就学児・低学年・高学年の量の見込みを受入れることは可能であることから、

・未就学児の量の見込み数=「一時預かり事業」の子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター)の確保数

・低学年・高学年の量の見込み数=子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター、就学後含む。)の確保数とする。

番号	事業名称	対象	事業の内容	量の見込みと確保の内容	実績数 (見込)	次期期計画数				
					R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
9	延長保育事業(時間外保育)	未就学児童	保育所在園児を対象に、保護者の就労等の事情により、通常保育時間を超えて保育を実施する事業	量の見込み(人)	/	1,056	1,030	1,034	1,038	1,045
				確保の内容(人)	1,056	1,056	1,030	1,034	1,038	1,045

○ 「量の見込み」算出方法

「認可保育所在園児の見込数」×「延長保育利用率(3年平均、32%)」

※R2、R3はコロナの影響で極端に数値が低いため除外

○ 「確保の内容」算出方法

「量の見込み」と同数

番号	事業名称	対象	事業の内容	量の見込みと確保の内容	実績数 (見込)	次期計画数				
					R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
10	放課後児童健全育成事業(学童保育)	就学児童	保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校就学児童に対し、授業の終了後等に適切な遊びや生活の場を与えて、児童の健全育成を図る事業	量の見込み(人)		1,827	1,924	1,998	2,097	2,161
				【低学年】	1,613	1,658	1,714	1,783	1,886	1,954
				1年生	570	600	640	625	704	713
				2年生	569	543	588	629	616	689
				3年生	474	515	486	529	566	552
				【高学年】	-	169	210	215	211	207
				4年生	-	34	40	39	39	38
				5年生	-	65	66	66	63	63
				6年生	-	70	104	110	109	106
確保の内容(人)					1,160	1,200	1,240	1,280	1,320	1,320

○ 「量の見込み」算出方法

【低学年】 「公立小学校児童の見込数(6~8歳)」×「前年利用(見込)率」×「過去5年実績の平均利用増加率(6歳109%、7歳97%、8歳90%)」

【高学年】 「家庭類型別児童数(9~11歳)」×「平均利用意向率」(=推計児童数(9~11歳)の平均利用意向率)

○ 「確保の内容」算出方法

R6	4月1日時点の確保数が公設1,120+民設40=計1,160	R7	1,160人+40人=計1,200(民設事業者決定前のため)
R8	1,200人+40人=計1,240	R9	1,240人+40人=計1,280
R10	1,280人+40人=計1,320	R11	1,320人

番号	事業名称	対象	事業の内容	量の見込みと確保の内容	実績数 (見込)	次期計画数				
					R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
11	一時預かり事業	①幼稚園在園児 ②在園児以外は未就学児童	家庭において保育を受けることが一時的に困難となった児童について、保育所等において児童を一時的に預かる事業	①幼稚園における一時預かり(幼稚園における在園児対象型)						
				量の見込み合計(人日/年)		23,002	21,733	21,503	21,180	21,287
				幼稚園の在園児を対象とした一時預かり(1号認定見込み)	4,379	4,379	4,138	4,094	4,032	4,053
				幼稚園の在園児を対象とした一時預かり(2号認定見込み)	18,623	18,623	17,596	17,409	17,147	17,234
				確保の内容(人日/年)	17,869	17,869	17,869	17,869	17,869	17,869
				②保育園等における一時預かり(幼稚園における在園児対象型以外)						
				量の見込み合計(人日/年)		13,796	13,446	13,437	13,428	13,449
				確保の内容(人日/年)	12,871	13,631	13,521	13,518	13,515	13,522
				(在園児対象型以外)保育園の一時預かり	8,775	8,482	8,482	8,482	8,482	8,482
子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター)	3,196	3,939	3,829	3,826	3,823	3,830				
子育て短期支援事業(トワイライトステイ)	900	1,210	1,210	1,210	1,210	1,210				

○ 「量の見込み」算出方法

①幼稚園における一時預かり(幼稚園における在園児対象型)

ニーズ調査に基づく見込み量を抜粋した。

②保育園等における一時預かり(幼稚園における在園児対象型以外)

○ 「確保の内容」算出方法

①幼稚園における一時預かり(幼稚園における在園児対象型)

平成30年度実績のとおり

②保育園等における一時預かり(幼稚園における在園児対象型以外)

・(在園児対象型以外)保育園の一時預かり …令和5年度実績-保育室

・子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター)

…「子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター、就学後含む)」の「確保の内容」算出方法を参照

・子育て短期支援事業(トワイライトステイ) …(令和6年9月開始)「定員数(5人)」×「平均年間開所日数(242日※)」※土、

日、祝日、年末年始除く平日数5年平均242.6日より

番号	事業名称	対象	事業の内容	量の見込みと確保の内容	実績数 (見込)	次期期計画数				
					R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
12	乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）	保育所及び幼稚園等を利用していない満3歳未満の子ども	全ての子どもの育ちを応援し、子どもの良質な育成環境を整備するとともに、全ての子育て家庭に対して、多様な働き方やライフスタイルにかかわらない形での支援を強化することを目的に、月一定時間までの利用可能枠の中で、保護者等の就労要件を問わず時間単位等で柔軟に保育施設等が利用できる制度	量の見込み (人日/年)	/	—	12,672	12,672	12,672	12,672
				確保の内容 (人日/年)	—	—	12,672	12,672	12,672	12,672

○ 「量の見込み」算出方法

必要受入れ時間数（0歳6か月から満3歳未満の推計児童数×月一定時間（10時間））
 ÷ 定員一人1月当たりの受入れ可能時間数（月176時間（8時間×22日））

○ 「確保の内容」算出方法

上記12,672人を同数確保

番号	事業名称	対象	事業の内容	量の見込みと確保の内容	実績 (見込)	第2期計画				
					R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
15	養育支援訪問事業	要支援児童、特定妊婦、要保護児童	養育支援が特に必要な家庭に対して、その居宅を訪問し、養育に関する指導・助言等を行うことにより、当該家庭の適切な養育の実施を確保する事業。正式名称は「養育支援訪問事業及び要保護児童対策地域協議会その他の者による要保護児童等に対する支援に資する事業」	量の見込み(人)	/	42	42	42	42	42
				確保の内容(人)	17	42	42	42	42	42
					実施体制：子ども家庭支援センター及び委託で実施 実施機関：子育て支援課（子ども家庭支援センター） 委託団体等：ヘルパー派遣事業所（6事業所）					

○ 「量の見込み」算出方法

「派遣人数（過去5年間最大値、42人）」

○ 「確保の内容」算出方法

「量の見込み」の最大値と同数

番号	事業名称	対象	事業の内容	量の見込みと確保の内容	実績数 (見込)	次期期計画数				
					R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
16	子育て世帯訪問支援事業	要支援児童、要保護児童、特定妊婦等	家事・子育て等に対して不安や負担を抱える子育て家庭、妊産婦、ヤングケアラー等がいる家庭の居宅を、訪問支援員が訪問し、家庭が抱える不安や悩みを傾聴するとともに、家事・子育て等の支援を実施することにより、家庭や養育環境を整え、虐待リスク等の高まりを未然に防ぐことを目的とした事業	量の見込み(人)	/	365	365	365	365	365
				確保の内容(人)	—	365	365	365	365	365
					実施体制：委託により実施 実施機関：こども家庭センター 委託団体等：ヘルパー派遣事業所（4事業所）					

○ 「量の見込み」算出方法

養育訪問支援事業（育児家事支援）延べ派遣回数実績＝延べ利用人数過去5年最大値

○ 「確保の内容」算出方法

「量の見込み」の最大値と同数

番号	事業名称	対象	事業の内容	量の見込みと 確保の内容	実績数	次期期計画数				
					R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
18	親子関係形成支援事業	支援が必要と認められる児童及びその保護者等	児童の心身の発達の状況等に応じた情報の提供、相談及び助言を実施するとともに、同じ悩みや不安を抱える保護者同士が相互に悩みや不安を相談・共有し、情報の交換ができる場を設ける等その他の必要な支援を行うことにより、親子間における適切な関係性の構築を図ることを目的とした事業	量の見込み(人)	/	78	79	79	79	79
				確保の内容(人)	—	80	80	80	80	80
						実施体制：委託により実施 実施機関：こども家庭センター 委託団体等：ヘルパー派遣事業所（4事業所）				

○ 「量の見込み」算出方法

[推計児童数0～17歳(人)]×[対象人数(育児援助事業参加者数)]/[各年度全児童数(人)]過去5年最大値

育児不安親支援事業参加者延べ人数 過去5年最大値

○ 「確保の内容」算出方法

事業提供予定延べ人数(定員8人×5回×2ターム)